

2030年時点の原子力発電への依存度を1つの目安として、今後の日本のエネルギー政策の大方針を考える「国民的議論」。

パブリックコメント、意見聴取会、討論型世論調査、各種提言、そのほか様々な形で寄せられた9万件近いご意見をどのような手法で集約してエネルギー・環境会議に報告するか、世論調査の専門家の先生方などをお招きして検討する会合を開きました。

全3回中第2回の内容を、全て分割して論点ごとに動画をご覧ください。

▶動画を全てご覧になりたい方はこちら【2時間07分】

はじめに

※肩書きは、開催当時のもの



古川 元久 国家戦略担当大臣 あいさつ
【3分49秒】

前回国合のまとめ、今回の資料説明
【4分13秒】

1.前回のご指摘事項を踏まえた
各調査の特徴と調査事項について

事務局からの説明
～前回からの改訂・追加～

※各説明を視聴する際は、併せて関連資料もご覧下さい。

各調査の特徴と調査結果について
【6分21秒】

[＜資料1＞](#)

パブリックコメントの取りまとめ結果、団体等の提言
【3分32秒】

[＜資料2-1-1＞ 再配布](#)
[＜資料2-1-2＞ 再配布](#)
[＜資料2-2-1＞ 改訂](#)
[＜資料2-2-2＞ 改訂](#)

討論型世論調査の結果、民間の独自調査
【5分34秒】

[＜資料2-3-1＞ 改訂](#)
[＜資料2-3-2＞ 再配布](#)
[＜資料2-3-3＞ 追加](#)

政府協力の説明会における意向調査の結果、マスコミ等の世論調査の結果、Webサイトでの調査結果
【4分02秒】

[＜資料2-4＞ 改訂](#)
[＜資料2-5＞ 改訂](#)
[＜資料2-6＞ 追加](#)

曽根委員からの報告
～討論型世論調査の結果～

意見聴取の手法と政策決定との関係
【5分22秒】

[＜資料6＞](#)

2.《課題3》 支持率の数字の解釈の仕方について

事務局からの説明

調査ごとに異なる支持率をどう解釈すべきか
【8分37秒】

[＜資料3＞](#)

～出席委員からのご意見・ご質問～

- “望まれている”と思い込みの回答と、少数派の“沈黙のらせん” 【4分07秒】
- 討論型の世論調査の注意点 【5分55秒】
 - その注意点への反論 【4分02秒】
- 支持率の把握以上に、世論がどういう手順で結論を出すべきかと思っているかを読み取るべき 【5分11秒】
- 今回実施した討論型世論調査の反省点 【4分40秒】
- 国民の受けとめ方（男女間・世代間の違い） 【7分09秒】
- 15%シナリオのメッセージ性の弱さとパブリックコメントの活用方法 【5分50秒】
- 今回募集したパブリックコメントの性格 【2分49秒】
- まだ意見が明確でない方などの考え方を探る手段としての討論型世論調査 【6分49秒】

3.《課題4》 論点の整理の仕方について

事務局からの説明

①支持シナリオ別の立脚理由
【3分58秒】

②立脚理由の違いから言えること、論点整理
【6分22秒】

[＜資料4＞](#)

～出席委員からのご意見・ご質問～

- 15%シナリオの不明確なビジョンとパブリックコメントの活用について 【5分35秒】
- 判断材料として国民へさらに提示すべき情報 【5分35秒】
- 調査結果から得るべきは、数字よりも国民が“何を重要視しているか”の把握 【2分00秒】
- 国民が議論しがっているのは原発比率ではなく、これからの社会像 【2分59秒】
- マスコミ的視点での数値データの見方 【3分28秒】

終わりに

※肩書きは、開催当時のもの

次回会合について今後に向けた国民的議論の課題
【3分47秒】

[＜資料5＞](#)



古川 元久 国家戦略担当大臣 あいさつ
【5分49秒】

次回会合の議題について
【2分36秒】